

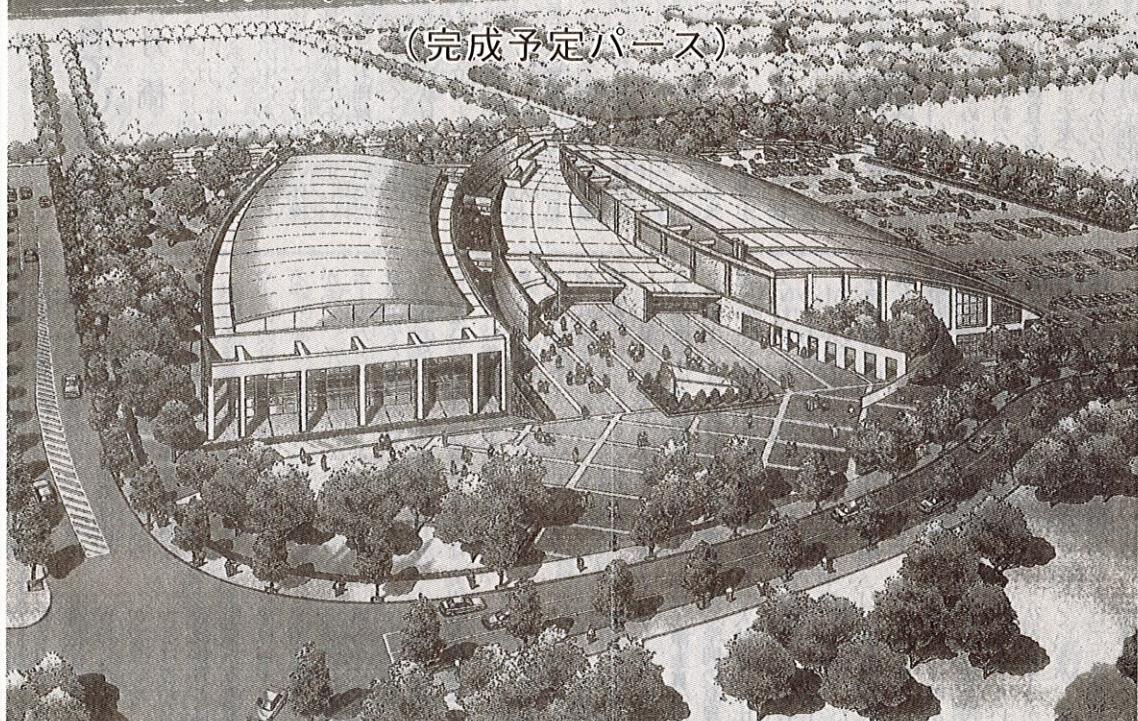
# 柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集者 近藤康信

印刷所 株柏崎インサツ

## 平成5年7月オープンのアクアパーク (完成予定パース)



新潟県立柏崎アクアパークの建設が急ピッチで進められています。レジャープールと公認50米プールの二棟式です。食堂・浴室などもあり、冬はアイススケートリンクにもなり本格的レジャー施設として市民の期待が集まっています。今年七月上旬にはオープンされます。



## 「いま求められているもの」

柏崎体育団長  
月橋

卷五

『生涯体育とは何か』

私は戦時中 八〇日近く小さな

品屋は身柄を拘束されたことがあ  
る。このとき、この狭いスペース

の中で、いかにして健康体力を保持するかということを真剣に考えてみた。「四時間こことおり、外へは出られない。食事は与えられるものの、その内容については自分の意見はいさざかも挿入することができない。こういう生活中で何が健康を保持してくれるのか。実行するとすれば何なのか。この要素が私の体育論の基本になった。私は体育について有名、無名の

多くの先生方から直接、間接に御  
指導をうけたことは、その中で最も

持続をいかないながら、その中で最も影響を大きく受けたのが三橋喜

久雄先生である。文部省の体育政  
策を持てはやび（愚ぐる、こゝに比

策を時にはさりとげるくらい指  
判した先生だから、一部の人から

は大いに非難された」ともあるが、私二つては云ひながら先生がこう

私はどこで忘れない先生である。この先生が昭和九年ころであ

るが、「一生不離生命体操」とい

このことを指摘されたのである。ここでいう生命体操とは何かという

ことを説明すると字数が多くなる  
かつ遠慮するが、まあ「王」一本

「操」というように考えていただき

たい。ポイントは「一生」という字にあるのである。一生を貫く体操、一生実践の中にあり、身から離れない体操、これは生命的の体操であり、眞の体操であり、正しい体操であるとでも理解していただきようか。一生を貫くことのできないようなものでは駄目であるという逆の説もあり立つと思われる。いまや世をあげて生涯教育といい生涯スポーツという。大へんよい事だと思うが實際はどうかと見ると、カルチャーチャンスの色彩が濃厚なもの、落語で出てくる隱居の勉強みたいなもの、生涯スポーツに至っては「日がわりランチ」そつくりのものがどうも多いような気がしてならない。それで当事者が満足していられるものだから、部外者の私が何をいふことは無い筈であるが気にかかる所である。

生涯教育は暫くおき、生涯スポーツ論に集中してみたい。私はいま満八十一歳となつた。妙なことが七年秋である。以来約六十年、だんだを自分の体育意見も固まり、それに基いて今日まで來ている。明日の私の生命はわからないが、とにかく八十一年の一生に於て、

私を買いて来た体育の理論と實際と結果の實証は何なのかもある。理論がなければ實際はなく、實際がまちがつていてよい結果は出ない。従つて實証が非常に重く見られるのである。私の体育の評価はまさにここにある。

生涯スポートという言葉の通りやすい穴はこのスポーツ四字にある。スポーツにはたくさんの種目がある。それどころかニュースポーツなどといってどんどん新種目が出てくる。一体どれをやったるよいのだろう。目移りがしてかなわない。こういう形にどうもなり易い。言つまでもないことだが、新でも旧でもそのスポーツをやる機会があつたら、進んでどんどんやつたらよいと思う。とくに若い層は思い切つてやるべきだと思う。しかし落し穴もここにあるのである。健康・体力の問題が見過され、ただ「よい汗をかいだ」とか「腹がへった」「ビールがうまい」だからよかつたということになり易いのである。つまりスポーツと称するものをやることが目的となり育体の根元的な目的精神である健康ということは忘れられ勝となるのである。だからこそ、用具がないからだめだ。体力が衰えてればできない。機会がないからやられない。施設がないからどうやうか。私が日替わりランチのよう

だというのはここなのである。場所もない、機具もない、相手もない。こうなっても健康・体力の保持になるものをやるのが体育なのでないか。だれもこれをスポーツとは言わないであろう。ここに最低体育とは何かという考え方が出でてくるのである。私の体育の実際は何かと言えば、即ち最低体育には根を置き一生不離という形となる体育の実践なのである。これは明らかに生涯スポーツというよりは生涯体育というべきである。

このように言つたら「そんな窮屈な体育はごめんだ」という声が出てくることであろう。私はすべての人が私の言うような考え方になつてもらいたいというのではなく、そこには指導者の資質・教育が重要性をもつてゐるのである。

る。自分の中にある沸々たる指導意欲を平易なるものにして与え、それが漸次高度化し、一生化することに渾身の努力を傾けること、これが指導者である。

柏崎の誇る綾子舞は、いまはステージでやっているが、かつては高原田舎ではタタミ一枚、下野ではタタミ三枚の上で舞つたものだそうである。非常にせまいので足を綾（交差すこと）にして舞うことにになったと言われている。ただ漠然と教えているのではなく、真に指導に心氣体が入ればこのようになるのである。「スポーツ教室」などは生涯体育の道を見付けさせる重要な機会だと思うのだが、日替りランチ式生涯スポーツ観に犯されしていくは折角の機会を無駄にしてしまうことになる。

## ● 体育功労賞に

渡辺五郎兵衛氏

● 感謝状は 柏銀会

平成4年  
45回

## 優秀体育人表彰

表彰式 1月22日(土) 産業文化会館で

永年に亘り当地方の体育振興に尽された方々と、この一年間に各種競技大会で優秀な成績を収めた競技者の表彰選考は、旧暦十二月二十一日に理事会、委員会を開催して決定した。

最高栄誉の「体育功労賞」は本団の財務を永年担当された渡辺五郎兵衛氏と、市民スポーツの振興に寄与され昨年十月三十日に亡くなられた故岡島利夫氏に、又スキー技術の向上と普及に力を注いだ柏銀会に感謝状が贈られる。

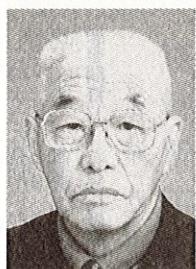
これら三件の表彰は一月二十二日にサンブン大酒店で開催の新春体育懇親会の席上で行われる。その他競技者の表彰は二月六日にサンブン文化ホールで挙行される。

功労者等の表彰内容は別掲のとおりであり、競技者について

受賞をお祝い申し上げます。

平成五年一月二十二日

柏崎体育団長 月橋 奎



## 功労賞

あなたは戦後の本団事務局員として御活躍され、更に昭和五十年から平成三年までの十六年間、理事としてその要職につかれました。その間、一貫して財務担当として本団の財政基盤の確立に絶大なご貢献をされました。

また、あなたは柏崎市が新潟国体のハンドボール会場に指定されるや、新潟県ハンドボール協会の理事長として、すぐれた企画力と指導力をもって大会運営にあたられ、大会の成功と本市のハンドボール定着の基礎を築かれました。以来、北信越、生涯スポーツに分類したこと、これまでの奨励賞は生涯スポーツ部門の全てを対象にし、競技スポーツ部門には「競技者賞」と名称を変えた。

今回の受賞者の数は「競技スポーツ部門」では、優秀競技者賞が個人八名、団体は一団体(五名)、競技者賞では個人四十一名、団体は二十団体(実人員一四七名)の受賞者である。「生涯スポーツ部門」では、市民米山登山大会として団体にも出場され、優秀な成績を納めるとともに後輩の育成にすばらしい実績を残されました。

ささらに、体育人としてのあなたは、新潟県の壮年短距離ランナーとして団体にも出場され、優秀な成績を納めるとともに後輩の育成にすばらしい実績を残されました。

このようにななが永い間、体育・スポーツの振興に寄せられたご熱意と実践力に対し、本団は深甚なる敬意を表するとともに、更なるご指導ご活躍を期待し、ここに体育功労賞を贈り表彰いたします。

その他の競技者の表彰は二月六日にサンブン文化ホールでいることから、個人六名、団体は十九団体(実人員一一九名)の受賞となつた。

あしあと

(一九九二年)

元朝体操会

選手強化部会

東村山軽体操連盟との懇親会

新春体育懇親会

選手強化基金研究委員会

県体協新年祝賀会出席

256 東村山市新春懇親会出席

25 県体協新年祝賀会出席

26 東村山市新春懇親会出席

25 席

30 体育振興懇談会

29 優秀体育人表彰式

31 市民スキー大会

16 春の市民スポーツ大会

1 1 市民バレーボールのつどい

24 体育振興懇談会

27 評議委員会

10 常任理事会

28 市民米山登山

12 会計監査

17 県スポーツフェスティバル実行委員会出席

1 三役会議

8 常任理事会

12 理事会

13 役員改選

14 委員会

13 平成4年度市町村体育協会連絡会議出席

15 市民グラウンドゴルフ



## 功労賞

故 岡島 利夫 殿

あなたは戦後いち早く当地方報道の先達的役割を果した柏新時報の主幹として、敗戦に打ちひしがれている国民の士気の昂揚に何よりも効果のあるのは体育であるとの信念の下に、昭和二十一年より防犯少年野球大会、町内対抗野球大会を企画、開催されました。その後、知名人野球大会も加えて開催され、これ等は連綿として今日に及んでいます。また、軟式庭球に於ける市長杯大会、スキーに於ける八石滑降はじめ各種の行事はいずれもあなたの体育に対する並々ならぬ強固なる理念と卓越した実行力を証明するものであります。

また、あなたは柏新時報の紙上を通じ体育の時事問題について適正な批判と建設的な具体策を発表しておられます。これまた他のなかなかやり得ないことだと思います。そしてそれを行政面に実践したのがスポーツ振興審議会の会長としての活躍であり、本団理事としての活動であります。各種の施設建設をはじめ柏崎体育の隆盛をもたらした活動には、あなたの寄せられたところが誠に大きいのであります。

本団はあなたの永い人生に於けるこの偉大なる功績に対し、体育功労賞を贈り表彰いたします。

平成五年一月二十二日

柏崎体育団長 月橋 奎

## 感謝状

柏銀会 殿

貴クラブは昭和三十七年に結成されてより三十年間、本地方のスキーの普及とその技術向上に尽力され、市民の冬季体育の振興に大きく貢献されました。

雪国でありますながら降雪量が少なく冬季屋外スポーツ活動の振興、とりわけ、スキーに対する理解や技術の向上は困難な本地域にあって、柏銀会の誕生はスキー発展の使者のような存在でした。

市民スキー教室やバッジテストなどへの積極的協力と指導、市民をスキーのとりこにさせた柏銀会のタバの開催、そして、市民スキーの広場である鶴川スキー場整備への労力奉仕など数々の事業に示された優れた指導力とサービス精神は、衆目の認められるところであり、永く感謝されてきました。

また、その基盤が、きびしい会員相互の研鑽活動による公認正、準指導員二十六名、一級取得者三十六名、あわせるとその数、実にクラブ員の半数にも及ぶ優秀指導者の輩出にあることは、体育人の範とすべきことであります。

このように長期にわたり市民体育の振興に努力された貴クラブに對し、本団はその功績を讃えるとともに、今後益々のご发展を期待し、ここに感謝状を贈り敬意を表します。

平成五年一月二十二日

柏崎体育団長 月橋 奎

9	16	市民武道大会(弓道) 部会	6	27	女性体育スポーツ振興 大会
19	28	第4回新潟県スポーツ フェスティバル 東村山柔道連盟来柏 体育振興懇談会	3	24	新理事会 部会
22	28	女性体育スポーツ振興 部会	6	27	県民スポーツの日 パル中越大会ワンバウ ンドバレー・ボーリ大会 東村山体協と野田地区 体協交流会
27	21	第40回北陸バスケットボール大会	14	25	市民バレー・ボーリ大会 (東村山よりバレーチーム参加)
27	21	市民ソフトボーリ大会 剣道)	6	27	県民スポーツの日 パル中越大会ワンバウ ンドバレー・ボーリ大会 東村山体協と野田地区 体協交流会

# 平成五年度大運動会を目指し、リズム体操完成

## 女性体育スポーツ振興部

平成三年十一月、振興部が発足してから一年余を経過した。

私たち振興部では、「生活の中に運動を取り入れ、健康づくりに励もう」を活動目標の一つに掲げ、誰でもが気軽に取り組むことのできる軽体操の普及に努めようと考えた。そして本年度十月に行われる市民運動会において、リズム体操の合同発表を、まず行うこととした。

発表のために作られたリズム体操は、伸びやかな動きを中心とした「楽しき仲間たち」と軽快で楽しい動きの「おおシャンゼリゼ」の二作品である。

この体操の完成を待つて、昨年十月二十七日、市総合体育館で発表ならびに講習会を開催した。講習会には、市体育指導員、各地区体協会員、公民館コムニティセンター指導員など約百二十人が集まり、熱心に受講し、各地区での今後の取り組みにも積極的な意欲を示してくれ、成功裡に終了することができた。

次いで十二月十二日には、市教育委員会のストレッチ体操講習会において、地区協会ならびに体操指導員を対象とした、この体操の紹介と講習会を持たせて



(写真は柏崎日報社提供)

頃いた。

今後この体操の指導と普及については、地区を中心とした形ですすめたいと考えているが、指導者の派遣、養成など、取り組むべき課題は数多くある。各方面の協力と部員の熱意と努力で、すばらしい発表のできることを期待したい。

そして、これらの活動を導火線として、各地区に軽体操の輪が広がり、さらには「運動の楽しさと大切さを体験を通して実感しようとする」そんな人口の増大することを願ってやまないものである。

部長 藤田克子記

## 謹賀新年

・名 務 長	近藤 篤夫	丸山 実(バスケット)
・団 長	月橋 奎	有坂 和二(卓球)
・副 団 長	石橋 敏正	川合 康弘(水泳)
・監 事	鷲 栄一	阿部 茂晴(バドミントン)
・理 事 長	高橋 保	京子(アーチェリー)
・常 任 理 事	小林ミツ子	大倉 桢(山岳)
・ 牧 口 清 八 郎	渡辺 郁	金子 幸一(スキー)
・ 小 林 久 幸	五十嵐 六七	秦 審(ラグビー)
・ 布 施 俊 雄	尾崎 靖	仲条 嘉雄(ゲートボール)
・ 柳 喜 八 郎	青木 正勝	渡辺 瑞夫(射撃)
・ 柴 野 陽 一 郎	高橋 二郎	三宮 広克(パワーリフト)
・ 牧 口 清 八 郎	春一(空手道)	角山 二郎(相撲)
・ 小 林 久 幸	松田 博	野崎 信治(剣道)
・ 布 施 俊 雄	高橋 和久	牧岡 宏幸(弓道)
・ 柳 喜 八 郎	高橋 正樹	若月 キヨ(なぎなた)
・ 柴 野 陽 一 郎	中村 晃	高橋 春一(空手道)
・ 牧 口 清 八 郎	植木 正一(サッカー)	松田 博(少林寺拳法)
・ 小 林 久 幸	佐藤 幸治	広川 和久(合氣道)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎(学識)	田中 文雄(ヨット)
・ 柴 野 陽 一 郎	柴野陽一郎(テニス)	渡辺 正道(外洋帆走)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	高橋 正樹(ヨット)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	中村 晃(陸上競技)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	植木 正一(サッカー)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	佐藤 幸治(中体連)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 柴 野 陽 一 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 牧 口 清 八 郎	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 小 林 久 幸	柳 喜 八 郎	柳 喜 八 郎(学識)
・ 布 施 俊 雄	柳 喜 八 郎	柳 喜 八

## 平成 4 年度・体育団賛助会員御芳名 (順不同)

賛助会員に感謝状

◎各社の変わぬ御支援に  
厚く御礼申し上げます。

本団の選手強化事業に財政的  
ご支援をいただいている企業の方々の中で、昨年まで十年間続いた方々に感謝状を差し上げさせていただいておりますが、今回は左記の方々にてご協力賜った方々に感謝状を差し上げさせていただいてお申込みの上、御礼申

- ・大原運動用品株様
- ・小山タイヤ商会様
- ・株ナルサワコンサルタ
- ・柏崎支店様
- ・ナルスショッピングセ
- ・柏崎店様
- ・柏崎鋼機株様

ンタ  
ー